

昭和44年度労働通信教育講座

人間関係

●講師／津田真澄●

《監修》

有澤廣巳

大河内一男

有泉亨

中山伊知郎

日本労働協会

監修
有澤 廣巳
大河内一男
有 泉 亨
中山伊知郎

人 間 関 係

講 師 津 田 眞 激

日 本 労 働 協 会

まえがき

人間は人間関係のなかで生きています。人間関係のなかで人間ははじめて人間となるということを強調して、人間とは関係そのものだという人もあります。どのようにわずらわしくても、むずかしくても、人間にとって人間関係は生まれてから死ぬまでついてまわるものです。「だれでも友に対しては友であらねばならず、また進物に対しては進物を返さなければならない」というのは北ヨーロッパの古代伝説詩である『エッダ』に出てくる一句ですが、人間が人間関係のなかで生きているということが、古代から重視されていることをよくあらわしています。

このテキストは近代の企業経営のなかの人間関係を中心に、労務管理の領域での人間関係を扱っています。表現をやわらかにして、分かりやすくするために話しことばで書かれています。内容のレベルはかなり高いのではないかと思います。そこで、テキスト全体の骨組みをあらかじめ知っておいていただきたいと思います。

第一章は「人間関係の研究課題」と題してありますが、実際にあった一つのケースを紹介し、そのケースでの人間関係からの問題点を研究することになっています。このケースは、このテキストのなかで、あとからときどき出てくるように、あなたに解いていただくように「課題研究」の形をとっていますから、指示に沿って解いて

みて下さい。あなたがこの事例を解く姿勢が、第二章以下についてのあなたの読み方に大きく影響してくるでしょう。

それぞれの章・節のはじめと終わりに前後の章・節との関係がまとめてありますが、前もって簡単に紹介しておきます。第二章は欧米社会のなかでも企業経営のなかの人間関係の問題を理論的に追求してきたアメリカの科学的管理法と人間関係論がとりあげられています。また第三章では人間関係論への批判点を研究し、その有力な批判の一つとして、労使関係論からの批判および労使関係の骨組みを考察しています。第四章では、人間関係論、労使関係論が提出した人間関係上の問題をいっそう深めて追求しようとする、行動科学の考え方を跡づけています。第五章では第二章から第四章までの、欧米社会で発展してきた人間関係についての考え方が、欧米社会特有の基盤から発生していることを指摘し、欧米社会の人間関係の思想がどんな特徴をもっているかを考えてみただうえで、日本社会の人間関係の特色と対比させています。そして最後の「むすび」で、現在の日本の企業経営の人間関係がどのような変化をこうむっているかについて問題点をあげています。

図表は内容を目でみるように、かなりたくさん入っています。なかには本文で説明を略してあるものもありますから、とばさずによく見て下さい。ところどころに課題研究が入れてありますから、自分で解いてみて下さい。また、各章の末尾の参考文献は、本文中に出てきた著者の代表的な著作を中心として、すぐ手に入りやすい単行本をあげておきました。またあまり大部な書名はあげませんでしたから、いっそう深く研究したいときには、それぞれの刊行書があげている参考文献を利用するのがよいと思います。

目次

まえがき

第一章 人間関係の研究課題

一 ある事例	一
二 この事例の研究	四

第二章 人間関係論

第一節 科学的管理法と人間関係	九
一 テイラーの科学的管理法	九
二 テイラーの精神革命論	一三
三 テイラーの科学的管理法への批判	一六

第二節 人間関係論の開始	一九
一 人間関係論の研究の出发点	一九
二 ホーソン実験	二二
第三節 人間関係論の成立と発展	二三
一 人間関係論の成立	二三
二 人間関係論の発展	二五

第三章 人間関係論への批判と労使関係

第一節 人間関係論への批判	二六
一 「感情の論理」と人間関係	二六
二 労使関係と人間関係論	二九
第二節 人間関係と労使関係	七〇
一 労資関係と労使関係	七〇
二 人間組織としての労働組合	七四
三 団体交渉と団体協約	七九

第四章 人間関係と行動科学

第一節 行動科学の成立	八六
一 行動科学の意味	八六
二 行動科学の研究	八九
第二節 行動科学の展開	九五
一 個人の欲求と目標の達成	九五
二 人間関係としての集団と、集団のリーダーシップ	一〇〇
三 創造意欲と創造能力	一〇九
四 行動科学と労使関係	一二六

第五章 欧米と日本の人間関係

第一節 欧米社会の人間関係	一二〇
一 合理主義	一二二
二 個人主義	一二三
第二節 日本社会の人間関係	一二七
一 心情主義	一二七
二 閉鎖小集団主義	一二四
三 年功的労使関係と年功的労務管理	一四三

むすび

一	昭和三〇年代後半以降の日本社会の変化……………	一五
二	人間関係のこれからの方……………	一五七